別紙2

首都高速道路をETC専用に

首都高全料金所(178箇所)のうち、2026年度に新たに44箇所(累計134箇所)がETC専用になります。

2022年度	2025年度	2026年度	
35箇所	90箇所	134箇所	2028年春までに本線料金所などの一部を除き入口にある料金所のETC専用化

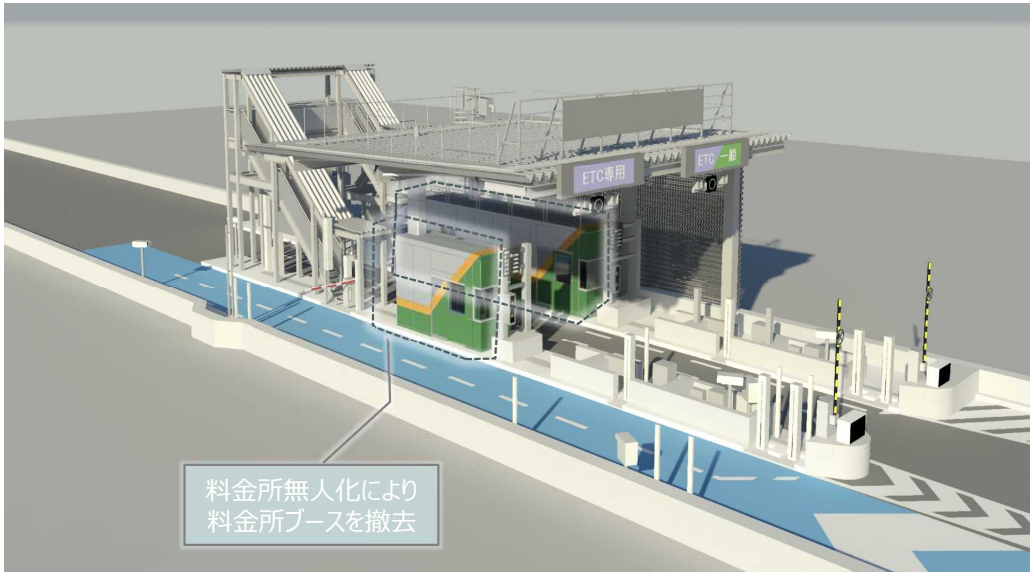
※導入後の運用状況、ETCの普及状況及び関係機関との協議等により、予定変更する場合があります。

料金所リニューアル工事を順次開始し、工事完了後はETC専用入口として運用を開始します。

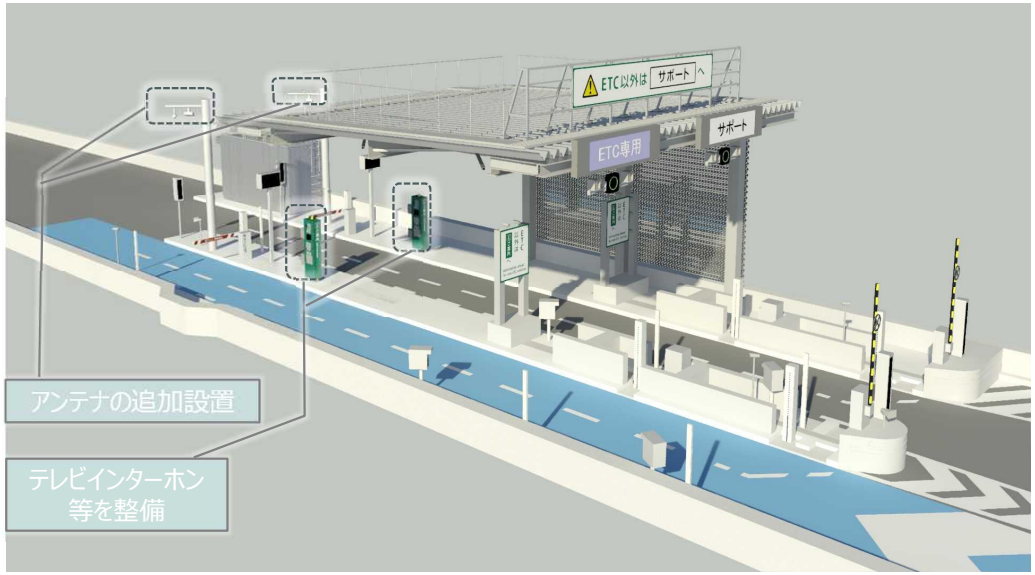
新しい料金所の特徴

・ETC機器のリニューアルにより、レーン閉鎖機会が減少します
・料金所無人化※1に伴い、テレビインターホン等を整備し、安定したサービスを継続します
・ETCカードの挿し忘れ等で車両停止したお客さまには、追加設置したアンテナで通信処理します※2

※1　ETC専用運用開始後、持続可能な料金所を実現するため、料金所は無人化します。
※2　遠隔地からETCカード挿入のご案内・通信処理するため、インターホン・アンテナを追加設置します。



現　在



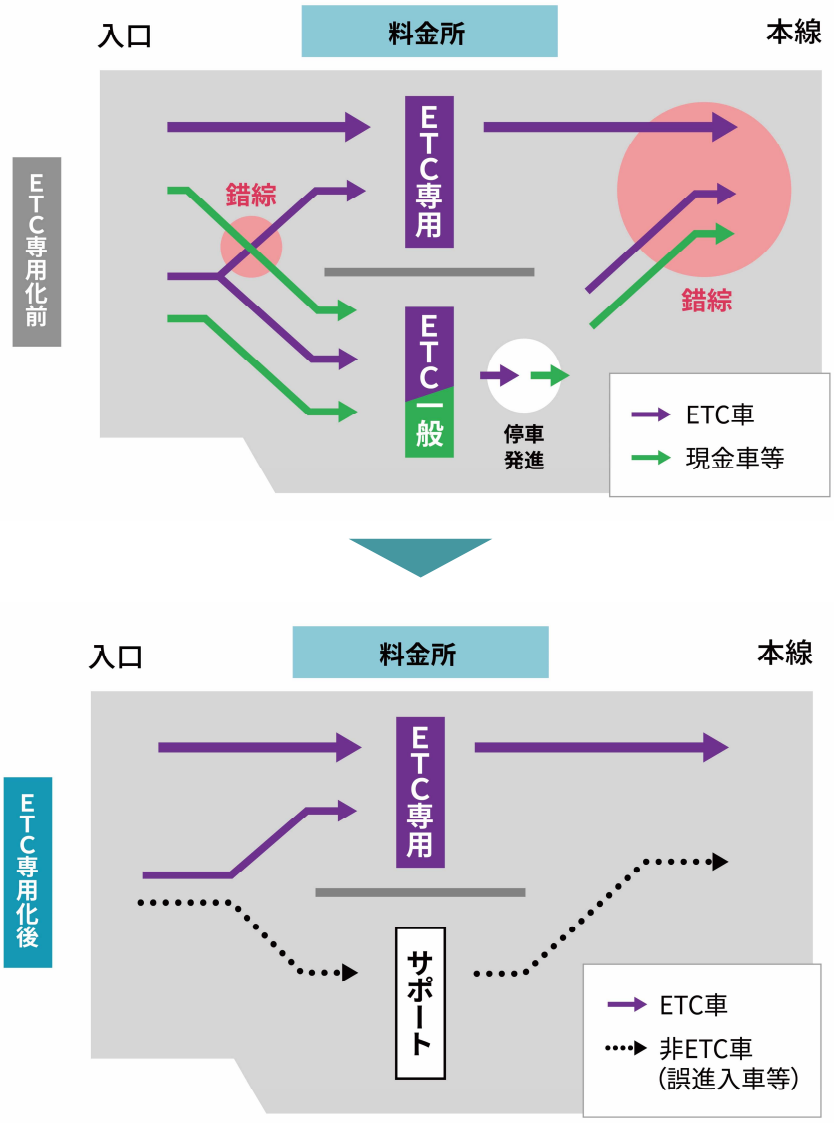
新しい料金所イメージ

※ETC専用の料金所はETC車載器を搭載していない車両はご利用になれません。

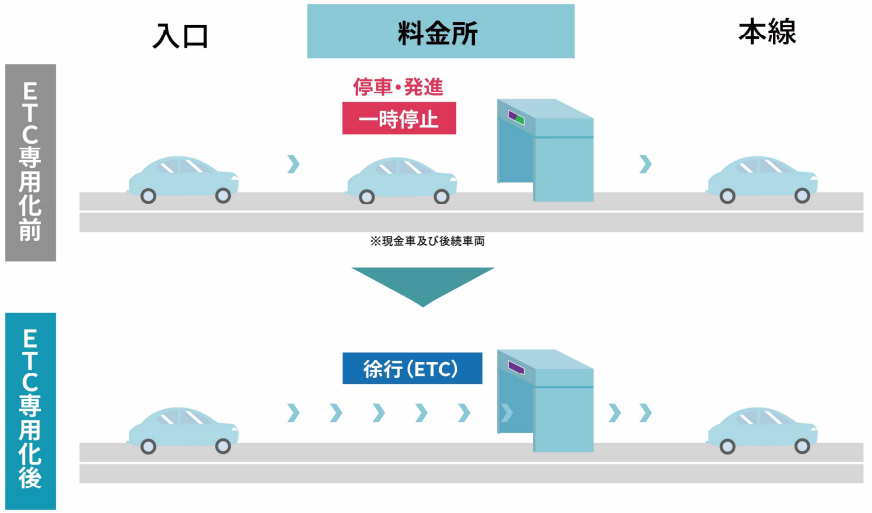
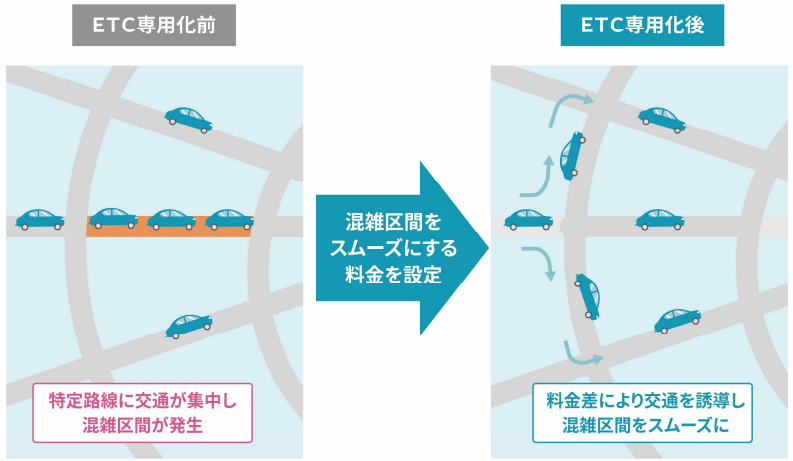
※万が一、ETC無線通行ができない状態(ETC車載器未搭載等)で誤ってETC専用の入口に進入した場合は、危険なためバックせず、「サポート」または「ETC/サポート」と表示されたレーンで一旦停車し、係員の指示に従ってください。

料金所がETC専用になると

■ETC車と現金車の錯綜、停車・発進の繰り返しが削減され、安全性と快適性が向上します。



■ストップ＆ゴーの解消によりスムーズな走行が可能になり、環境が改善します。



■空いている時間帯や経路の割引等の柔軟な料金設定により、お客さまの混雑区間でのご利用がスムーズになります。